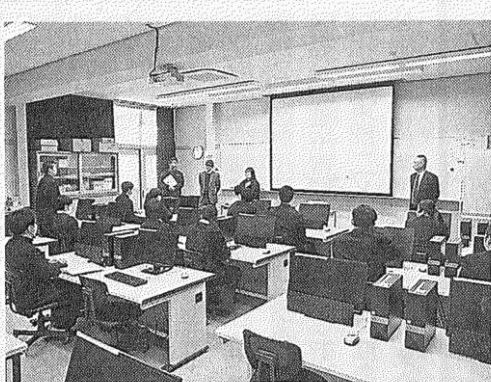


# 高校生向け出前授業開く

## 建築の仕事や魅力をアピール

山口県建築士事務所協会  
山口県建築士事務所  
山口県事務

山口県建築士事務所協会（小倉凡会長）は10日、柳井市伊保庄の県立柳井  
商工高校で出前授業を開  
催し、同校建築・電子科  
建築コースの2年生13人  
が受講した。出前授業で  
は、同協会の竹田述生専  
務理事や会員企業である



出前授業のもよう



記念撮影

異設計コンサルタント（光市、光井謙二社長）の社員が講師として登壇し、建築士事務所の仕事や若手社員の1日などについて講義を行い、生徒らはメモを取るなど熱心に受講した。

はじめに、竹田専務理事が建築士事務所の概要や契約から完成までの仕事の流れについて解説。業界紹介のパンフレットを用いて、基本設計と実設計の違いや監理業務とは何かなどを説明した。

次に、異設計コンサルタント総務部の静野邦彦部長が同社の会社概要や施工事例を紹介。耐震改修を行った同校の体育館をはじめ、柳井市武道館、白壁の街並み「やない西蔵」など設計やリニューアル等で同社が携わった建物を紹介し、様々な建物に関わることができる建築の仕事の魅力をアピールした。

続いて、同社建築部の若手社員である三浦舞桜氏が「若手社員の1日のスケジュール」と題して、自身の1日の生活の流れや業務内容を紹介。資料や図面の作成などのデスクワークから現場での確

認や検査の立ち会い、現在改修中の山口市瑠璃光寺での現場見学研修など、仕事内容は多岐にわたることを伝えたほか、自身が現在挑戦中の1級建築士試験の勉強法についても触れ、「資格勉強のモチベーションを高めるにはルーティンをつくるのが大切。ただ、社会人になってからの方が勉強に充てる時間がとりやすいこともあるので、学生のうちは様々なことを経験し、自分の知見を広げることに重きを置く」とアドバイスした。

その後の質問コーナー

では、高校生のうちに学んでおいた方がよいことや製図のコツ、キャリアについてなど様々な質問が投げかけられ、同社の末益卓也専務取締役は「お気に入りの建築や建築家の名前を、聞かれてすぐに答えられるようになる」とよいと思う。若い

今の時期に感性を磨いて、自分が好きだと思っ建築にたくさん触れてほしいとエールを送った。授業を終えて、同校の17歳の男子生徒は「自分も将来は建築士になりたい」と思っているため、貴重な話を聞くことができたと良かった」と感想を述べた。

べ、同17歳の女子生徒は「建築の仕事で働く人の生の声を聴くことができ、自分の将来像がより現実的になった。この先も学業と資格所得に向けた勉強を両立して頑張りたい」と意気込みを語った。